

アーカスプロジェクト 2026 いばらき
アーティスト・イン・レジデンスプログラム
募集要項（国内在住者用）

I. はじめに

アーカスプロジェクトのレジデンスプログラムは、現代アートの分野で活動するアーティストに、作品の構想力や創造性を養う機会を提供しています。東京から約1時間という場所に位置するアーカススタジオでは、日本の現代アートシーンに触れることができるとともに、落ち着いた環境で一般市民とも交流しながら創作活動に専念することができます。また、定期的なキュレーターとのチュートリアルとスタッフによるサポートをとおして、アーティストは、自らの制作に関する思考や技術、方法論を追究し、新たな表現に挑戦することができます。

本プログラムは、アーティストみずからの問題意識や課題への取り組みに重きを置いた実験・実践を重視しており、制作過程で生み出される試作をオープンスタジオで公開します。人や土地、文化との出会いを糧にし、国際的な批評空間へと開かれていくようなプロジェクトや作品の構想を歓迎します。

アーカスプロジェクトは、2026年に市内の小学校の敷地内へと移ります。制作環境の質はそのままに、より地域社会へと開かれたプログラムを展開したいと考えています。

II. プログラム概要

プログラム名

アーカスプロジェクト 2026 いばらき アーティスト・イン・レジデンスプログラム

プログラム期間

2026年9月11日～12月9日（90日間）

※日程は変更になる場合があります。

※プログラム期間はV4) に示されている公式プログラムを含みます。

公募人数

1組（海外在住のアーティスト2組と同時期に招聘）

新拠点

アーカススタジオ（守谷市立高野小学校内）

〒302-0125 茨城県守谷市高野1 3 4 2

地図：<https://maps.app.goo.gl/Ki3qngPhc5cS3ia56>

主催

アーカスプロジェクト実行委員会（茨城県、守谷市、公益財団法人茨城県国際交流協会）

<注> プログラム概要は変更になる場合があります。その際には助成内容が変更になる可能性があります。

III. 申請資格

申請者は以下の条件に適合することとします。

- 1) 現代美術およびそれに近いジャンルで活動するアーティストであること。
- 2) 日本在住であること。
- 3) 2026年7月時点で在学中の者は応募不可。ただし、博士課程在籍中の者は応募可とする。
- 4) 他のアーティスト、スタッフと交流するのに十分な英語力を有していること。

※ グループ等複数人での申請も可能ですが、その場合、1グループを1アーティストとみなし、助成内容などは全て1名分（交通費、宿泊等）の支給とします。

IV. 助成内容

招聘アーティストはプログラム期間中に以下のサポートを受けることができます。

1) スタジオ

- ・1教室（面積約65㎡）※小学校の空き教室
- ・スタジオにはエアコンおよびインターネット回線あり

※アーカススタジオには基本的な工具類（丸のこ、ドリル、金槌、ドライバーなど）はあります

が、大型の工作機械、映像編集設備、特殊な専用機材などはありません。制作に必要な特殊な工具、編集ソフト、コンピューター、カメラ、ビデオカメラ、三脚などは各自持参すること。

2) 居住アパートの提供

スタジオ近隣に最低限の家具・電化製品を備えたアパート（単身用ワンルーム）を提供する。同伴者／配偶者がある場合、交通費及び滞在費は招聘アーティストの自己負担とする。

※住居にはエレベーターやスロープなどの設備がない場合があります。

※アパートに同居できる人数は1名までです。

[追加料金]

滞在費 1,500 円/日 + 布団手配 1泊~14泊まで 1,000 円/泊
15泊まで 15,000 円
30泊まで 20,000 円
90泊まで 35,000 円

3) 交通費

国内居住地の最寄りの駅または空港から、守谷駅（つくばエクスプレス）までの往復交通費を提供する。（※交通手段はアーカスプロジェクト実行委員会との協議によって決定。グループの場合、代表者の居住地を採用。）

4) 助成金

滞在中（90日間）の制作活動費（素材購入費、リサーチ費用など）、生活費（交通費、食費など）として計540,000円を支給する。

ただし、リサーチや制作とは関係のない理由により計9日以上アーカススタジオを離れる場合は、アーカスプロジェクトの判断により、助成金を日割り計算し実際の滞在日数に応じて支給することがある。

〈注〉プログラム概要の変更により、助成金に変更になる場合があります。

5) 制作サポート体制

スタッフがプログラム運営にあたり、招聘アーティストのリサーチに必要な専門家、インフォーマント、通訳者などとの連携や地域コミュニティとの交流をサポートする。

V. 招聘条件

1) プログラム期間中は主催者によるプログラムへの参加を最優先とすること。

2) 原則として滞在期間中は主催者が指定するスタジオ等を制作活動の拠点として利用すること。なお、制作活動にともなう調査、研究などのため、スタジオ等を一定期間離れるときには事前に主催者に知らせ、許可を得ること。

3) 展覧会など本プログラム以外の活動に参加する際は、主催者にその旨を事前に知らせ、許可を得ること。

4) アーカスプロジェクトによる招聘アーティストのための公式プログラムに参加すること。

<例>アーティスト歓迎会、茨城県知事表敬、守谷市長表敬、オープンスタジオ、アーティストトーク等のプログラム、キュレーターとの面会、小学生によるスタジオ訪問（公式プログラムは、場合により変更や中止の可能性がある。）

5) 主催者が定める規則に従うこと。

6) 施設利用にあたっては、主催者が提示する利用規則等に準じること。

7) プログラム期間中は原則として営利活動を行わないこと。

8) 本プログラムの広報活動に協力すること。

- ・ 期間中のメディア取材への対応
- ・ 期間中行なわれた活動に関する主催者が記録したすべての写真・映像記録の著作権、使用权は主催者に帰属
- ・ 写真・映像を主催者が使用し、他媒体に貸出すことへの合意
- ・ 将来的な出版物における記載協力

9) プログラム終了後、滞在中の制作に関わる活動について展覧会などを実施した場合、開催に関わる情報を必ず連絡すること。

10) プログラム終了後、作家履歴に「2026年 アーカスプロジェクトのアーティスト・イン・レジデンスプログラムに参加」と必ず記載すること。

11) プログラム終了後1年以内に下記のような活動を通じて、滞在の成果を発表するよう努めること。

- ・ 展覧会、ワークショップ、報告会、講演会等を開催
- ・ 新聞、雑誌、ウェブサイトなどのメディアにおいて、滞在の成果を記事や論文として発表

※ 以上の基本的な条件ならびに招聘に際して取り交わす合意書記載の留意事項を著しく逸脱する者に対しては、招聘（助成）取消または一部助成内容の取消を行なうとともに、支払済の助成金の返還を求めるものとします。

VI. 申請方法

1. 所定の申請フォームをアーカスプロジェクトのウェブサイト <https://www.arcus-project.com/open-call/> よりダウンロードし、必要事項を記入した上で、1つのPDF（A4サイズ）ファイルにまとめる。
そのPDFファイルをZipファイル（ファイル名は申請者の氏名）にし、アーカスプロジェクト（arcus@arcus-project.com）までEメールで送信。
PDFファイルのデータは6MB以下、メールの件名は「アーカスプロジェクト 2026 いばらき レジデンスプログラム申請」とする。
2. クレジットカードで以下のURLから申請料3,000円を支払う。（支払締切：VII. 申請締切と同じ）
<https://square.link/u/BkpajuXT>

申請料は必ず期日までに支払いを完了してください。支払いが完了していない場合、申請は無効となり、審査対象外となります。支払われた申請料は返金しませんのでご了承ください。

※申請書類および申請料の受付は、2月17日（火）に開始いたします。

[ご注意]

クレジットカード決済において問題があった場合は、お使いのカード会社へ連絡し一時的にセキュリティレベルを下げることで解決される場合があります。

提出書類一覧

- 1) エントリーフォーム（日本語、英語のいずれか）
- 2) ステートメント（日本語・英語の両方）※英語話者は英語のみ
アーティストとしてのあなたの活動における主要な関心を簡潔に説明すること。
（日本語 500 字以内／英語 200 ワード以内）
- 3) プロポーザル（日本語、英語のいずれか）
どんなリサーチ／プロジェクト／作品を実行または制作したいと考えているか。また、それをどのように実現するか。（日本語 800 字以内、または英語 350 ワード以内）
- 4) 作品リスト（日本語、英語のいずれか）
作品画像は 5 点まで提出可。 ※ 6) の映像作品数を含めて 5 点になるようにすること。
少なくとも 1 点は必ず提出すること。
- 5) CV（日本語、英語のいずれか）
3 ページ以内。
- 6) 映像作品のリンク（任意・3 点まで・合計 15 分以内・日本語、英語のいずれか）
映像作品を提出する場合は、映像を YouTube や Vimeo などの動画共有サービスにアップロードし、そのリンクを記入すること。

※指定したサイズやフォーマット、方法以外で申請された場合、審査対象外となります。

※同一志願者からの重複する申請は、審査対象外となります。

※グループでの申請の場合は、エントリーフォームの「氏名」に代表者、またはグループ名を記載してください。異なるメンバーによる重複する申請は、審査対象外となります。

VII. 申請期間

2026 年 2 月 17 日（火）～3 月 19 日（木）(23:59:59 JST)

※締切を過ぎた場合は受け付けません。

※提出書類以外のもの（カタログ、ポートフォリオ等）を送信しないでください。送信した場合、審査対象外とします。必要に応じてアーカスプロジェクト実行委員会が追加の資料請求をすることがあります。

VIII. 選考と結果

- 1) 公募人数：1 組
- 2) 提出された資料を基にアーカスプロジェクト実行委員会及び現代アート分野の専門家による予備審査と本審査（2026 年 5 月を予定）の 2 段階を経て、招聘アーティストを決定する。

- 3) 予備審査を通過したアーティストには、追加審査資料として、指定の書類やビデオインタビューの提出を請求する。
- 4) 選考結果については 2026 年 5 月下旬までに全ての申請者に対して原則としてメールにて連絡する。
- 5) 審査の経緯、結果に関する個別の問合せは受け付けない。

IX. お問い合わせ

メールとお電話で受け付けます。

arcus@arcus-project.com / 0297-46-2600（アーカススタジオ）

申請期間終了後はお応えできかねますのでご了承ください。

アーカススタジオ

問い合わせ期間 火曜日～金曜日 10:00 - 17:00

（土・日・月・祝日は休館。月曜日が祝日の場合は火曜日が休館となります。）

上記以外の日に頂いたお問い合わせについては、翌業務日以降の返信となります。

※申請内容に関するご質問は 3 月 13 日（金）までにお送りください。

<注>本プログラムはアーカスプロジェクト実行委員会の承認をもって成立します。今後変更が生じる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。